

12 レイプドラッグ被害

近年レイプドラッグ被害がクローズアップされて、被害の相談が増えています。

- Q** レイプドラッグとはなんですか？
- A** 飲食物に混ぜて飲食させ、意識を失わせてレイプするために使用する睡眠薬や抗不安薬などの薬物です。
- Q** 薬が入っていて、どうして気が付かないのですか？
- A** 色やにおいのあるお酒やジュースなどの飲み物に入れられることが多いからです。
- Q** その薬は日本で手に入るのですか？
- A** 医者からの処方薬を悪用するものです。インターネットでも手に入れることができます。
- Q** どのくらいの効き目があるのですか？
- A** アルコールと一緒に飲めば効き目が強くなり、記憶を失ったりします。自分では望んでいないのに性的に反応することもあります。
- Q** 飲まれたことを証明するのは、どうしたらいいですか？
- A** できるだけ早く警察署に行って、尿や血液を採取して検査機関で検査をしてもらう必要があります。
- Q** どんなことに気をつけたらいいですか？
- A** お酒を飲んでいる場で中座したら、飲みかけのお酒は飲まないようにしましょう。また疲れに効くからと言われて薬を渡されても、その場で飲まないようにしましょう。
- Q** 完全に気を失うのでしょうか？
- A** 薬の作用によって、いったん寝てしまっても歩き出したり、トイレに行ったりすることもあります。でも本人には記憶がありません。ですから警察に行って防犯カメラを見てもしっかり歩いているように見えます。これを「一過性前向健忘」といいます。

レイプドラッグが使用された事件の例

1 一人で飲み屋にいったら…

1人で飲みに行った。近くの席の男性と意気投合してお酒を分け合ったりして、飲んでいて、途中から記憶がなくなった。気がついたら、ホテルのベッドで裸で寝ていて、レイプされていた。

2 先輩たちと飲んでいたら…

同じ職場の人に誘われて、先輩たちと飲み屋に行った。途中でトイレに行った。いつもは少量では酔わないのに、その時はとても酔いが早く回り、気分が悪くなった。酔いをさまそうと先輩男性に誘われて、ホテルに行った。そこから記憶がなくなり、気がついたらレイプされていた。

3 ホームパーティで具合が悪くなり…

友人達とホームパーティを開いた。お酒を飲み、大いに盛り上がった。そんなに飲んでいないのに、吐き気がしたのでトイレに行った。その家の持ち主の男性から「酔っているときはこの薬効くよ」と勧められ、薬を飲んだ。急に眠気が来てその家の寝室のベッドで寝てしまった。気がついたら、その家の男性にレイプされていた。

